

第14回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日時：平成28年9月2日（金）10時00分～11時30分

場所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 事
 - (1) これまでの取組経緯
 - (2) 平成27年度以降の取組状況と今後の取組予定
 - (3) 広域的な自転車ネットワーク候補路線選定に向けたパブリックコメントについて
 - (4) 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインの一部改定について
 - (5) 平成28年度自転車ネットワーク形成に向けた勉強会について
 - (6) トピックス
4. 閉 会

議 事 要 旨

- 広域的な自転車ネットワーク候補路線選定に向けたパブリックコメントについて
 - ◎先生が生徒に指導する際にも自転車通行空間整備は有効と考えられるため、向陽高校や北陵高校の周辺についても、自転車ネットワーク候補路線の追加を検討してもらいたい。
 - ◎北陸大学周辺も自転車関連事故が発生していることから候補路線に追加してほしい。
 - ◎自転車利用者が多い高校や大学には、パブリックコメントの実施についてアナウンスすべきである。
→高校や大学への依頼文を作成し、パブリックコメントの実施について周知したい。
 - ◎犀川緑地サイクリングロードは、かなり自転車で利用されているが、候補路線への追加を検討してはどうか。
- その他
 - ◎交差点形状や側溝などの細部の手直しなど、自転車ユーザー目線で問題のある箇所を抽出して改善していく取組も必要である。
 - ◎自転車利用環境に関する要望などを、常に受け付けることができるような仕組みがあればよい。

【第14回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委員名簿

| 分類 | 所属・氏名 | 出欠 |
|------|---|--------------------|
| 学識者 | 金沢大学 教授 高山 純一 | 出席 |
| | 北陸大学 名誉教授 三国 千秋 | 出席 |
| | 地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10次中央交通安全対策会議専門委員) | 出席 |
| 警察 | 石川県警察本部 交通部 交通企画課長 林 邦彦 | 代理出席 (田村 安全補佐) |
| | 石川県警察本部 交通部 交通規制課長 久田 悦弘 | 出席 |
| | 金沢中警察署 交通官 遠藤 英之 | 出席 |
| | 金沢東警察署 交通官 西川 真一 | 出席 |
| | 金沢西警察署 地域交通官 森 幸生 | 出席 |
| 行政関係 | 国土交通省 金沢河川国道事務所 事務所長 富山 英範 | 出席 |
| | 国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 中田 光 | 代理出席 (畠中 建設専門官) |
| | 石川県 土木部 道路整備課長 飯田 晋 | 代理出席 (玉田 課長補佐) |
| | 石川県 土木部 都市計画課長 二塚 保之 | 代理出席 (山 課長補佐) |
| | 石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 吉元 研司 | 出席 |
| | 金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課長 多田 正人 | 出席 |
| | 金沢市 土木局 道路管理課長 木村 裕一 | 出席 |

| | | |
|-------------------------|--------------------------|----|
| オブザーバー | 白山市 建設部 土木課 計画係長 山岸 正勝 | 参加 |
| | 野々市市 産業建設部 建設課 課長 北川 勝 | 欠席 |
| | 総務部 環境安全課 課参事 山田 伸吾 | |
| | 津幡町 産業建設部 都市建設課 課長 岩本 正男 | 参加 |
| 内灘町 町民福祉部 環境安全課 課長 本 郁夫 | 欠席 | |

※敬称略

議 事 概 要

○各委員、●事務局

■開会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 餘久保課長）

定刻となりましたので、ただいまより、第14回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

私は、事務局を担当しております、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課長の餘久保でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、開会にあたりまして、高山会長より、ご挨拶をお願い致します。

■会長挨拶

○金沢大学教授 高山会長

平成19年度に東山周辺で自転車走行指導帯を整備し、その後平成22年度には金沢自転車ネットワーク協議会を設立し、今年で設立から7年ほど経過することとなります。

もともと金沢は、雨が多く必ずしも自転車の利用環境が良い状態ではありませんでしたが、皆様の頑張りもあり、全国でも自転車利用環境整備についてはトップランナーになっていると思います。

今後は、公共交通と自転車の連携を図ることで、自動車の利用を抑制するようなことも検討できればと考えています。

■これまでの取組経緯／平成27年度以降の取組状況と今後の取組予定

○金沢大学教授 高山会長

平成27年度に自転車走行指導帯の整備が進んでいますが、その成果として地元から意見や感想、苦情などがありますか。利用している高校生や地元などから、もし意見があればご披露いただければと思います。県の方はどうでしょうか。

○県央土木総合事務所 維持管理課 島田係長

地元の町会長からは、自転車走行指導帯ができて自動車の速度が低下したということや、高校生のマナーが良くなったとの意見をいただいています。今後、具体的なフォローアップ調査で明らかにしていきたいと思います

○金沢大学教授 高山会長

続いて、市の方はどうでしょうか。

○金沢市歩ける環境推進課 松村主任技師

継続的に自転車走行指導帯を整備してきており、平成 27 年度整備区間のみを対象とした意見は特に聞いていない状況です。

○金沢大学教授 高山会長

続いて、警察の方はどうでしょうか。

○石川県警交通規制課課長 久田委員

直接的な回答にはならないが、自転車走行指導帯を整備してもすぐにルールを守ってほもらえないことから、地元の方々とともに街頭指導を実施し、効果を発揮していきたいと考えています。

○石川県警交通企画課 田村安全補佐（代理出席）

昨年は、自転車関連の死亡事故で 6 名の方が亡くなっており、今年はずでに 7 名の方が亡くなっています。昨年の同時期と比較すると 2 名増加しています。一方で、自転車関連事故の負傷者数としては、年々減少している状態です。

金沢市でも実施しているルール・マナー検定を県内の中高生を対象に実施し、正答率を出してみたところ、一旦停止の標識がある場所では自転車も停止しなければならないが、止まらずに徐行で通行して良いと思っている生徒が 70% もいました。また、自転車の歩道通行については、歩行者の通行を妨げる場合は停止しなければならないが、徐行して走っても良いと思っている生徒も多数いました。

■広域的な自転車ネットワーク候補路線選定に向けたパブリックコメントについて

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

自転車の利用者のことを考えると、高校生がかなり多くなると思います。向陽高校や北陵高校は 5 km 圏内のエリアから外れていますが、学校の先生が生徒に指導する際にも自転車通行空間整備が有効と考えられるため、両高校の周辺についても検討してもらえればと思います。

北陸大学周辺では、自転車関連事故がかなり発生していたため、大学職員が要所に立ち指導している状況です。特に留学生には、ゴミの捨て方と自転車のことを教えなければいけないいうことで取り組んでいました。金沢大学や金沢工業大学の周辺は、自転車ネットワーク候補路線となっていますが、北陸大学周辺も長期的な検討路線でも良いため路線の追加を検討していただければと思います。

○金沢大学教授 高山会長

今回の要望も踏まえてご検討いただければと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

今回のご意見やパブリックコメントでの意見を踏まえて追加を検討していきたいと思
います。

○金沢大学教授 高山会長

パブリックコメントについては、いかに広く周知するかが課題だと思います。自転車利
用者が多い高校や大学には、パブリックコメントの実施についてアナウンスすべきだと思
います。生徒や学生に意見を寄せてもらえるよう、学校側に依頼してはどうかと思いま
す。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

事務局で依頼文を作成してもらえれば、北陸大学へも依頼したいと思いま
す。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

依頼文を作成させていただきます。

○金沢市道路管理課課長 木村委員

災害時のことを考慮すると、緊急輸送道路の整備が重要であり、災害時には自動車だけ
でなく自転車での移動も考慮すべきと考えます。自転車ネットワーク候補路線の選定に際
しては、緊急輸送道路の観点でもご検討いただければと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

緊急輸送道路となると、主要幹線である国道や県道の優先度が高くなりますが、どの路
線も長期検討路線となっている状況です。

○金沢河川国道事務所 富山事務所長

犀川緑地サイクリングロードは、かなり自転車で利用されているが、今回の自転車ネッ
トワーク候補路線は道路法上での道路を対象としているのでしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

基本的には道路法上の道路をベースに検討していきたいと考えています。

○地球の友・金沢 三国成子委員

熊本市では、白川沿いの自転車道をネットワーク路線として活用できないか、河川管理
者も一緒になって検討しているようです。金沢でも何らかの工夫を検討してもらえればと
思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 餘久保課長）

先ほど、基本的には道路法上の道路を対象とお答えしましたが、河川や公園など各々の管理者と協議をしながら検討すべきと考えます。その結果、望む方向にはいかない可能性もありますが、今回のご意見を踏まえて検討していきたいと思えます。

■安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインの一部改定について（三国成子委員より）

○金沢河川国道事務所 富山事務所長

自転車ユーザーの立場から申し上げますが、完成形態と暫定形態について、完成形態が分離された形態しかないというのは違和感があります。

○地球の友・金沢 三国成子委員

自動車の速度や交通量に応じて自転車専用通行帯や車道混在を完成形態としてもよいという基準にはなっています。

○金沢河川国道事務所 富山事務所長

自動車の速度が速い場合でも、車道混在を暫定形態とすることは可能になるのでしょうか。暫定形態といえども、自動車の速度が速い路線で車道混在は許容されるのでしょうか。

○地球の友・金沢 三国成子委員

自動車の速度が速い国道などでも車道を通行する自転車はいます。そのような自転車を守るためにも、車道混在での整備を許容していく方向となっています。

○金沢河川国道事務所 富山事務所長

路面表示は無いよりもあった方がよいということかと思えます。今回の候補路線の中で国道 157 号の横川交差点～有松交差点間が短期路線として含まれています。この区間は、自動車の速度も速く交通量も多いことから、この幹線道路をどのような整備形態とするかは1つのポイントになると考えています。

今後、ご意見をいただきながら暫定形態での整備も含めて検討していきたいと思えます。

○金沢大学教授 高山会長

現時点ではこのような判断だが、10 年後には社会情勢や交通状況が変化し、自動運転技術の普及等が進めば大きく変わる可能性もあります。しかし、当面は現在のガイドラインにそって進めていけばよいと思えます。

○石川県土木部都市計画課 山課長補佐（代理出席）

今回のガイドラインの改定では、自転車ネットワーク計画対象路線において、自転車歩

行者道の活用は整備形態の選択肢から除外するとされています。自転車ネットワーク計画対象路線から外れた道路については、自転車歩行者道は活用してもよいということでしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

過去の検討過程については不明ですが、自転車ネットワーク計画対象路線では、自転車歩行者道は活用しないということかと思えます。

○地球の友・金沢 三国成子委員

現在、広い幅員の自転車歩行者道となっている路線については、将来的に歩道と自転車道に分けていくなどの整備が必要と考えます。このことから、今後は歩道上には自転車マーク等の整備を行わないこととなり、自転車通行空間整備は基本的に車道上を対象とするということになります。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

岡山市では広い幅員の歩道上に自転車マークがたくさん設置されていましたが、細街路にはほとんど整備されていないように感じました。歩道に自転車マークを整備すると歩道通行を推奨してしまうため、金沢のように細街路で整備を進めてきたのは効果的だったと思います。

■平成 28 年度自転車ネットワーク形成に向けた勉強会について

○金沢大学教授 高山会長

この勉強会も継続してきており、もう 6 回目くらいになると思います。参加者の定員はあるのでしょうか。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 堀口専門官）

概ね 100 名程度までは大丈夫かと思えます。前回の参加者は約 50 名でした。

○金沢大学教授 高山会長

当日は多くのご参加をお願いしたいと思います。

■トピックス（三国千秋委員より）

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 餘久保課長）

直江谷サイクリングツアーについては、自分の自転車で参加することも可能でしょうか。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

もちろん可能です。参加費も半額になると思います。外国人対応なども含めてテストケースとして実施したいと考えています。

○金沢大学教授 高山会長

まちなりを1日レンタルすることも可能なのですか。

○金沢市歩ける環境推進課課長 多田委員

状態の良い旧型のまちなりを活用して、1日レンタルも行っています。

○金沢大学教授 高山会長

今回の議題で最も重要なのは、自転車ネットワーク候補路線（案）のパブリックコメントです。パブリックコメントでは、今回の候補路線を不服という意見も出てくるかもしれないので、それらの意見も踏まえて候補路線を決定していきたいと思っています。

○北陸大学名誉教授 三国千秋委員

デンマークの自転車教室は、京都市と尼崎市でも行う予定です。講演会も大阪や東京で行う予定なので、興味ある方はご連絡いただきたいと思っています。

○金沢河川国道事務所 富山事務所長

自転車ネットワークの整備を先進的に進めてきた金沢として、交差点形状や側溝などの細部の手直しなど、自転車ユーザー目線で問題のある箇所を抽出して改善していく取組も必要と考えています。事務局でも今後検討していきたいと思っています。

○金沢大学教授 高山会長

JAFでは、県内の事故に対する分析を行い、対策案を道路管理者に提案しています。自動車ドライバーからの意見を吸い上げる仕組みができており、自転車に関しても、自転車利用者の要望などを、常に受け付けることができるような仕組みがあればよいと感じます。事務局の方でもぜひ検討していただきたいと思っています。

■閉会

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 餘久保課長）

高山会長、委員の皆様、活発なご議論をいただき、ありがとうございました。

今回のご意見を踏まえ、広域的な自転車ネットワーク候補路線（案）のパブリックコメントを進めていきます。なお、次回の協議会は、来年1月頃を想定しています。改めて事前に案内しますので、お忙しい時期ではありますが、ご出席いただければと思います。

最後に、金沢河川国道事務所長の富山より、ご挨拶を申し上げます。

○金沢河川国道事務所 富山事務所長

自転車ユーザーとしても、金沢市内の自転車通行空間整備には心から感謝申し上げます。直轄国道ではまだまだ進んでいない面もありますが、パブリックコメントの対象となる自転車ネットワーク候補路線については今後も検討していきたいと考えています。

いろいろと発言させていただいたことも、石川県、金沢市、警察の皆様にご協力いただかなければならない部分も多くありますので、ざっくばらんに議論をしながら検討していければと思います。

●事務局（金沢河川国道事務所調査第二課 餘久保課長）

以上をもちまして、第14回金沢自転車ネットワーク協議会を終了します。

以上